



自動運転バスが、三田を走る！



実証期間は
6月1日から
7月10日まで！

ウツディタウン地区で自動運転バスの実証実験を開始

中型自動運転バスによる実証実験が、ウツディタウン地区で始まります！ウツディタウン中央駅を出発・終着点として、6月1日から7月10日まで、けやき台・すずかけ台・あかしあ台地区を巡っていきます。無料で、誰でも自由に乗車できるこの機会に、自動運転バスを体験してみませんか。

自動運転技術に寄せられる期待

人口減少や少子高齢化が進む中、AI(人工知能)などの新たな技術により、私たちの「移動」を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。中でも、自動運転の技術は、交通事故の削減といった交通安全面だけでなく、担い手不足に直面する地域交通の維持などの課題解決につながるものと期待されています。

として、実用化が期待されています。未来の乗り物を体験する機会！

今回の実証実験では、障害物の検知やハンドル、アクセル、ブレーキといった運転操作を自動でコントロールするバス車両を使用します。全区間、自動で運転しますが、安全のため運転士と車掌が乗車し、必要に応じて手動で障害物を回避したり、停車ができる環境のもと実施します。また乗車した人には、アンケートにご協力いただき、乗り心地や安心感などについても検証を行います。

この検証結果は、これからの地域交通の課題解決や利便性の向上に向けた新しい交通システムの可能性を検討していくために活用していきます。

運行図



★運賃は、**無料**(事前予約不要) ★運行時間は10時~16時に毎時20分発(12時台除く)、火曜連休 ★お願い：
①着席のみの乗車です。②乗客定員(27人)を超えた乗車はできないので、満席の場合、乗車をお断りする場合があります。③6月13日・14日・27日・28日は、企画イベントのため関係者以外は乗車できません。

※この実証実験は、経済産業省・国土交通省の事業を産業技術総合研究所が受託し、神姫バスが委託を受けて行うものです。

実証実験の前に未来の交通についてみんなで学ぼう！

次世代モビリティシンポジウム

～自動運転からみる暮らしと移動の未来～

参加無料！

- 日時：5月30日(土)14時~16時30分
- 会場：ウツディタウン市民センター 大集会室
- 定員：先着100人

プログラム

- ①講演(国立大学法人 福島大学経済経営学類 吉田 樹 准教授)
- ②パネルディスカッション「自動運転からみる暮らしと移動の未来」をテーマに討論(経済産業省(予定)・国土交通省(予定)・市・神姫バス(株)ほか)※その他、新たなモビリティ(交通手段)や新技術に関する各種展示も予定

■申し込み・問い合わせ：5月15日まで、住所・名前・電話番号を、電話・ファクス・eメールで下記 ※延期、中止になる場合があります。

問い合わせ=交通まちづくり課(559-5058 FAX 559-7400 eメール kotsu@city.sanda.lg.jp)

各バス停の停車時刻など詳細は、こちらからご覧ください



例年、武庫川沿いの桜が美しく咲き乱れる4月になると、三田のまちの人々の動きも活発になってきます。多くの子どもや若者にとっては、進級、卒業、進学、就職へと新たな人生への第一歩が始まります。しかしながら、今年の春は、新型コロナウイルス感染症により、「不安と沈黙の春」になったようです。

三田市においても、市内の子どもたちの安全を最優先に考え、3月上旬から、三田市立の小・中学校等をやむを得ず休校としてきたところです。子どもたちの卒業や受験を目前にした気持ちや保護者の方々のご苦労を考えると、大変申し訳なく思っています。この間、大きなトラブルもなく、子どもたちの安全を守ることができました。改めて、保護者の方々ははじめ市民の皆さんのご理解と冷静な行動に深く感謝申し上げます。

現在、春休み明けの始業式および入学式をはじめ、学校生活の正常化に向けて関係者が準備を進めています。三田市としては、一日も早く、三田の子どもたちの元気な声が聞こえるように、そして、高齢者をはじめ多くの市民が安全・安心な日常生活を取り戻すことができるように、さらには、厳しい状況にある飲食業をはじめとする市内の事業者の方々に支援するため、最大限の努力を続けてまいります。

「みんなの冷静な行動で不安を乗り越えていこう！」



三田市長 森 哲男

市長の「ほっとトーク」
森のひと言

